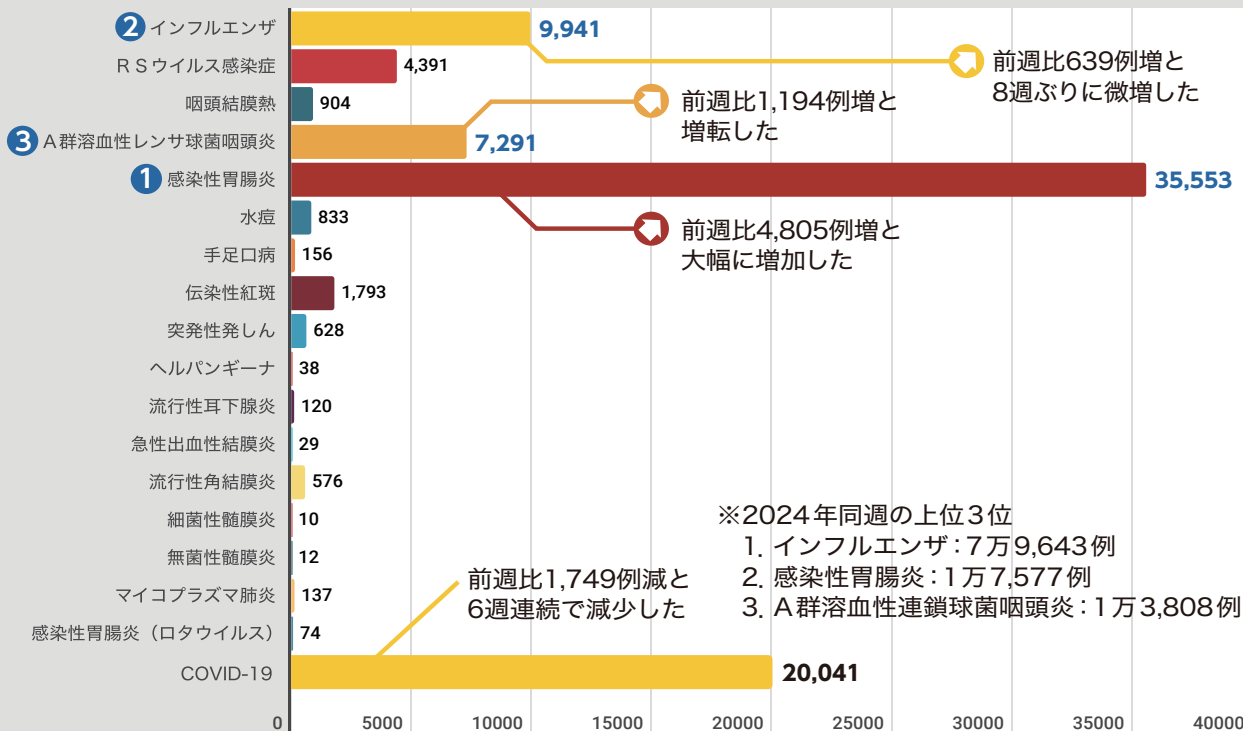




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

感染性胃腸炎とRSV感染症が過去5年で最多

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 3,342例
2. 大阪府: 2,478例
3. 神奈川県: 2,394例

定点当たりの報告数(11.38)

- | | | | |
|---------------|----------------|---------------|----------------|
| 1. 大分県: 21.44 | 4. 鹿児島県: 17.86 | 7. 山梨県: 15.04 | 10. 千葉県: 14.08 |
| 2. 愛媛県: 20.08 | 5. 熊本県: 17.78 | 8. 宮崎県: 14.86 | 11. 兵庫県: 13.98 |
| 3. 香川県: 19.93 | 6. 広島県: 16.14 | 9. 島根県: 14.39 | 12. 山口県: 13.88 |

② インフルエンザ

報告数

1. 神奈川県: 839例
2. 北海道: 815例
3. 東京都: 769例

定点当たりの報告数(2.02)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 沖縄県: 5.57 | 4. 北海道: 3.67 | 7. 千葉県: 2.79 | 10. 佐賀県: 2.46 |
| 2. 新潟県: 4.76 | 5. 栃木県: 3.59 | 8. 群馬県: 2.68 | 11. 福島県: 2.42 |
| 3. 長野県: 4.28 | 6. 富山県: 3.15 | 9. 山形県: 2.63 | 12. 神奈川県: 2.32 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 661例
2. 北海道: 560例
3. 埼玉県: 455例

定点当たりの報告数(2.33)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 富山県: 4.86 | 4. 鳥取県: 4.16 | 7. 茨城県: 4.07 | 10. 石川県: 3.41 |
| 2. 山形県: 4.58 | 5. 新潟県: 4.15 | 8. 福岡県: 3.82 | 11. 長崎県: 3.12 |
| 3. 岩手県: 4.21 | 6. 北海道: 4.12 | 9. 愛媛県: 3.64 | 12. 千葉県: 3.09 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は大幅な増加で3万5,000例を超え、過去5年の同時期で最多となっている。定点当たりの報告数が警報レベル(20.00)にある地域は大分県(21.44)と愛媛県(20.08)だった。その後は香川県(19.93)、鹿児島県(17.86)、熊本県(17.78)と続き、西日本で流行傾向にある。インフルエンザは第2週以降連続して減少していたが、8週ぶりに増転した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎も先週から増転し、再び7,000例台に突入した。COVID-19は6週連続で減少した。RSウイルス感染症は2025年第1週から継続的に増加し、4,000例を超えた。過去5年間の累積報告数において2025年は最多となっており、今後の感染拡大が懸念される他、急性出血性結膜炎(29例)や流行性角結膜炎(576例)も、過去5年で最多の状況が続いている。今後も各感染症の動向に注意が必要だ。